

講義コード		授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	英語 I							通年	
履修前提条件					備考				
授業の目的	英語 I は主にリーディングの力を養う。近年、世界に流れる情報をすばやく捉えて読みとる能力が要求され、社会人になってからもこうした英語読解力が求められているため、速読力の向上を重視する。授業では、高校までに習った文法や英文読解の技術を復習しながら、速読で内容を把握できる力を訓練する。また、より高度な文にも対応できるよう、豊富な語彙や正確な文法に支えられた読解力を培う。この訓練によって、結果的に TOEIC のリーディング・セクションのスコアを伸ばせるような力をつける。								
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 語彙数を高校レベルより300-500語程度増やす。 2. 英文をすばやく読むために必要な正確な文法を習得する。 3. 英文をざっと読んで (scanning/skimming)、大意をつかむ。 4. 日常生活に必要な英語を読んで理解できるようになる。 5. シャドーイングや音読で英語の自然なリズムを身につけ、リスニング力を高める。 6. TOEIC のリーディング・セクションの問題形式を理解し、熟知する。 								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次の授業に向けて教科書等を読み、理解する。 2. 担当講師から与えられた課題を行う。 3. 単語等、前回学習した内容を復習する。 4. 大学の WebClass が提供する e-learning を活用する。 5. テレビ、ラジオなどの語学講座や、インターネット上の英語関連サイト、参考書等を有効に使う。 上記の学修を自身で30時間以上行うこと。								
授業計画	【第1回】～【第15回】 ①読解の基本的テクニックを習得し、語彙力を増強する。 ②読解を支える基礎的文法と文構造を理解する。 ③ TOEIC のリーディング・セクションの問題形式を理解する。				【第16回】 TOEIC 団体試験受験直前対策 【第17回】～【第30回】 ①読解の応用的テクニックを習得し、語彙力をさらに増強する。 ②応用的文法とより複雑な文構造を理解する。 ③ TOEIC に対応できる基礎的能力を習得する。				
成績評価の方法	中間、期末、小テスト等の各種テスト (60%)、授業への参加態度 (40%)								
フィードバックの内容									
教科書	各担当講師の指示に従う。								
指定図書	『TOEIC 新公式問題集 Vol. 6』 Educational Testing Service (著), 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会 (編集) (国際ビジネスコミュニケーション協会) 2014年								
参考書									
教員からのお知らせ	①教科書や辞書は担当の先生の指示に従ってください。 ②大学の Webclass の提供する e-learning を積極的に活用してください。TOEIC の e-learning を利用した場合の評価基準は、各担当の先生に確認してください。								
オフィスアワー その他	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								